

この北九州市ハザードマップは、北九州市長の承認を得て、都市計画課所管の測量成果を使用して作成したものである。(承認番号) 令和元年北九建都計第1036号

洪水

--- [河川氾濫(外水氾濫)] ---
対象河川 確率降雨
竹馬川 38時間総雨量337mmの今までにないような大雨による氾濫を想定

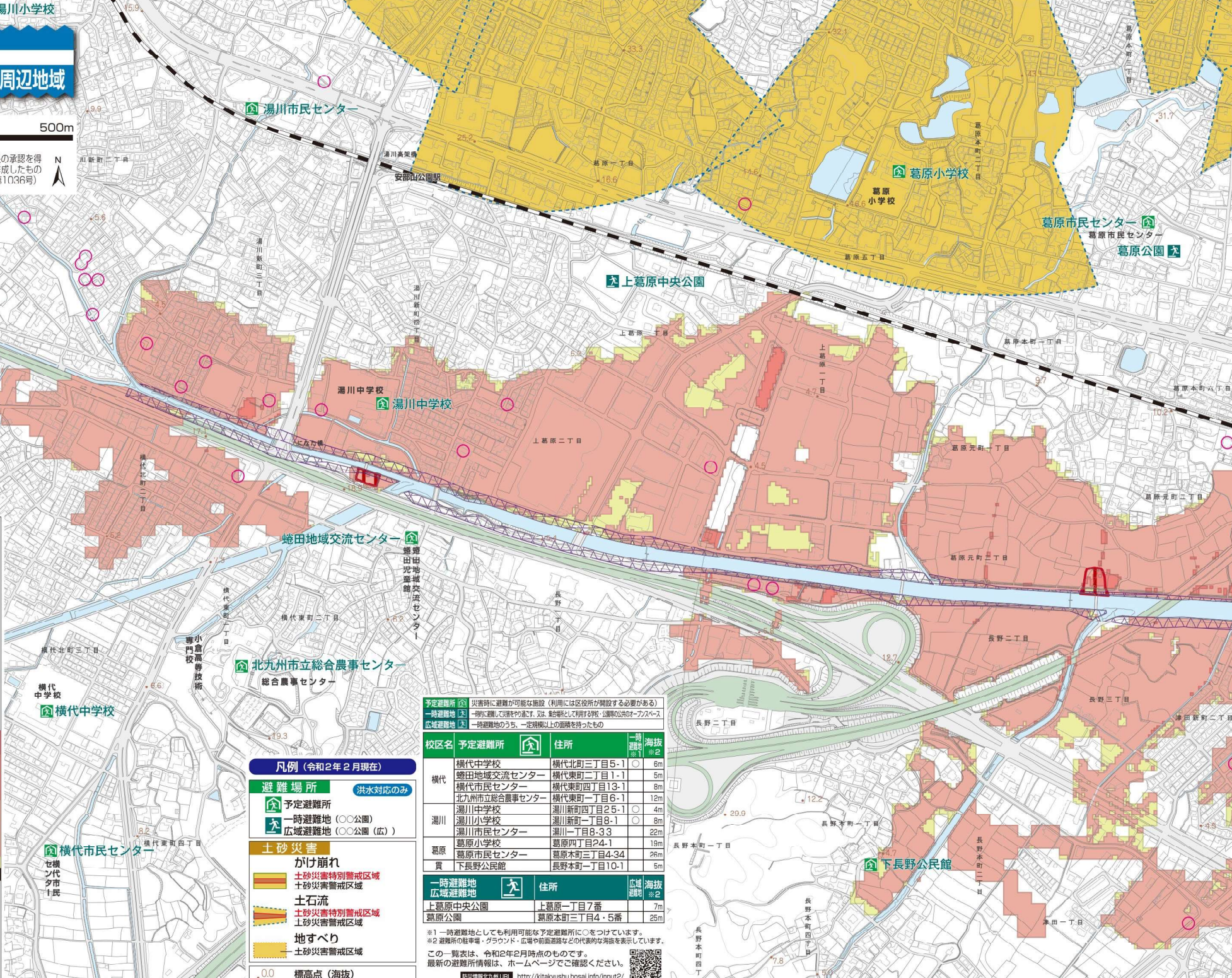
<想定浸水深>
5.0m以上
3.0～5.0m未満
0.5～3.0m未満
0.5m未満

<家屋倒壊等氾濫想定区域>
流速が速く、木造家屋が倒壊するおそれのある区域
洪水の際に地面が削られるおそれのある区域

浸水深と家屋の関係

5m以上 (2階水没)	5m
3m～5m未満 (2階浸水)	4m
0.5～3m未満 (1階床上浸水)	3m
0.5m未満 (大人の膝まで浸水)	2m
	1m
	0.5m

▲ 水位観測所
--- [内水氾濫] ---
○ 内水被害発生箇所 (平成19年度以降、内水被害の通報があった箇所)
▼ アンダーパス (掘下げ型立体道路)



凡例 (令和2年2月現在)

- 避難場所** 洪水対応のみ
- 予定避難所
 - 一時避難地 (○公園)
 - 広域避難地 (○公園(広))
- 土砂災害**
- がけ崩れ 土砂災害特別警戒区域 土砂災害警戒区域
 - 土石流 土砂災害特別警戒区域 土砂災害警戒区域
 - 地すべり 土砂災害警戒区域
- 0.0 標高点 (海拔)

予定避難所 災害時に避難可能な施設 (利用には区役所が開示する必要がある)
一時避難地 一時避難して災害をやり過ごす。又は、避難所として利用するが、公園等の深のオフスペース
広域避難地 一時避難地のうち、一定規模以上の面積を持ったもの

校区名	予定避難所	住所	一時避難地 ※1	広域 避難地 ※2	海拔
横代	横代中学校	横代北町三丁目5-1	○		6m
	鶴田地域交流センター	横代東町二丁目1-1	○		5m
	横代市民センター	横代東町四丁目13-1	○		8m
湯川	北九州市立総合農事センター	横代東町一丁目6-1		○	12m
	湯川中学校	湯川東町一丁目6-1	○		4m
	湯川小学校	湯川新町一丁目25-1	○		4m
葛原	湯川市民センター	湯川一丁目8-1	○		8m
	葛原小学校	湯川一丁目8-33	○		22m
	葛原市民センター	葛原四丁目24-1	○		19m
貫	下長野公民館	葛原本町三丁目4-34	○		26m
		長野本町一丁目10-1	○		5m

一時避難地 広域避難地
上葛原中央公園 上葛原一丁目7番 7m
葛原公園 葛原本町三丁目4・5番 26m

※1 一時避難地としても利用可能な予定避難所に○をつけています。
※2 避難所の駐車場・グラウンド・広場や前面道路などの代表的な高さを表示しています。
この一覧表は、令和2年2月時点のもので、最新の避難所情報は、ホームページでご確認ください。

防災情報北九州 URL: <http://kitakyushu.bosai.inpuf/2/>

竹馬川洪水ハザードマップ

洪水避難の心得

気象情報・水位情報・避難情報を積極的に集め、浸水前の安全なうちに避難しましょう。大雨に伴い土砂災害が発生することもあります。浸水した後は、より高い場所へ避難しましょう。

気象情報 水位情報 避難情報

これらの情報は、登録制防災メール及びLINE等により入手できます。

登録方法はこちら

避難情報は、テレビ・ラジオ、緊急速報メール（エリアメール）、インターネット、広報車などからも入手できます。

<p>警戒レベル3</p> <p>避難準備・高齢者等避難開始</p> <p>高齢者等は立退き避難する。その他の者は、立退き避難の準備をし、自発的に避難する。</p>	<p>警戒レベル4</p> <p>避難勧告 避難指示（緊急） ※1 緊急的又は重ねて避難を促す場合に発令</p> <p>避難所等への立退き避難を基本とする避難行動をとる。災害が発生するおそれが高くなる状況等となり、緊急の避難をする。</p>	<p>警戒レベル5</p> <p>災害発生情報 ※2 可能な範囲で発令</p> <p>既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をする。</p>
--	--	--



原則 / 早めの避難 / 逃げ遅れたら / その場そのときで命を守る行動を

浸水前の早い段階で安全な場所へ
水の中を避難するのはとても危険です。浸水前の避難にどの情報が活用できるかを北九州市防災ガイドブックなどで確認し、避難のきっかけをつかみましょう。

浸水した後は、より高い場所へ
浸水後は無理に避難せずに、近くの高い建物や自宅の高い場所で身を守りましょう。浸水の状況によってはとどまるのが危険な場合や浸水が長引いて孤立してしまう地域があります。

早い段階での避難先
避難できる安全な場所を記入しましょう。
記入欄

裏面を参考に、避難所に限らず、お住まいの地域の状況を確認し、2つの避難先を記入欄に記入しましょう。

逃げ遅れたときの避難先
近くにある高い建物や高い場所を記入しましょう。
記入欄

このハザードマップに使用した竹馬川の浸水想定区域図について
平成27年5月の水防法の改正に基づいて、令和元年5月に福岡県は想定最大規模の降雨により竹馬川が氾濫した場合に、浸水が想定される区域と浸水深等を公表しました。このハザードマップは、想定最大規模の浸水想定を基に作成しています。

あわせて、「北九州市防災ガイドブック」を確認しておきましょう。避難に活用できる気象情報・水位情報や非常持ち出し品リストなど、より詳しい内容を掲載しています。

登録制防災メール掲載URL
<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kiki-kanri/13801096.html>

発行 令和2年2月
問い合わせ先 北九州市危機管理室危機管理課
〒803-8501北九州市小倉北区内1-1
TEL：(093)582 2110

登録制防災メール及びLINE

もらって安心
災害情報配信サービス（北九州市）
気象情報、避難情報等
登録メール e-kitakyushu@xpressmail.jp

防災メール・まもるくん（福岡県）
気象情報、避難情報等
登録メール mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp

北九州市LINE
市政情報、避難情報等
LINEの検索欄で「北九州市」を検索

裏面を見て、自宅（事業所）がこのような区域にある場合には、自宅（事業所）以外への避難が必要です。

流速が速く、木造家屋が倒壊するおそれがある区域
裏面のマップでは、 河川

洪水の際に地面が削られるおそれがある区域
裏面のマップでは、 1

居住階が水に浸かってしまうおそれがある区域
裏面のマップでは、
5m以上 3階床上浸水が予想される
3~5m未満 2階床上浸水が予想される
0.5~3m未満 1階床上浸水が予想される
0.5m未満 1階床下浸水が予想される

いずれかにあてはまる場合には、まず、早い段階で安全な場所への避難を考えましょう。また、逃げ遅れたときの避難先として、近くの高い建物などを考えておきましょう

浸水が長引くと、とどまることが可能でも孤立するため、浸水前に浸水想定区域外に避難することが重要です。

